

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	運営推進会議の報告の中に、研修やカンファレンス以外のヒヤリハット、事故報告も取り入れたほうがよい。	運営推進会議の報告の中に取り入れる。	職員の自発的な「気づき」を活かせる、利用者1人1人に対するヒヤリハット、事故報告を活用して、モニタリングのスキルアップを目指す。運営推進会議に報告を行う。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年年度ごとに職員よりスローガンを募集し職員全員の投票で選び部署の朝礼で唱和する事を実践している。法人理念は分かりやすい言葉で施設内に掲示と毎月社長からの予定発信トーク(スマホ)と連絡事項(事務連絡)にて目を通ししやすいようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為自粛中であるが普段は地域のお祭りや保育園、幼稚園、小学校等の行事に出向き積極的に参加したり、施設の行事(敬老会他)にも地域の方たちを招待し交流を図っている。ほか、認知症知っとこ～座を開催したり、看護学生や中学生、支援学校実習生を受け入れたり、法人の代表者が消防団に入り積極的に地域貢献し交流を行っている。	運営推進会議資料にてコロナ禍により地域交流ができない中、できる範囲で工夫して少しでも地域交流に取り組む様子がうかがえた。特に「配食サービスプレゼント」や「地域の保育園、幼稚園へのクリスマスプレゼント渡し」はコロナが落ち着き活動再開ができるまでの「繋がり」として努力している様子である。		今までのように地域とのつながりを受け、コロナが落ちついた折には活動が再開できるように、今後も「繋がり」をもって様々な活動を行っていきたい。地域の方と顔を合わす近隣の散歩も今以上に多くしていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議は毎年奇数月の一日を地域の役員や家族、薬剤師にも出席してもらい、サービス内容や活動状況、外部評価や事業計画、改善課題や勉強会の内容等を報告しサービスの向上に活かしている。(コロナ禍のため施設内にて事業所職員で開催中)	昨年度と引き続き今年度も事業所内で行われていた運営推進会議の資料報告が滞っており、まとめでの配布となったために、評価しづらかった。		外部構成員参加の通常通りの運営推進会議を開催できない際には、会議後の会議資料の配布を必ず行い、活動報告を行っていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市の高年介護課や地域包括支援課等の担当窓口へは、介護保険制度改正やケアサービスの取り組みについて、折に触れ相談に訪れている。また、事業所では地域の認知症高齢者を抱える家族のために「認知症知っとこ～座」を開き相談に乗っている。	地域包括支援センターが対応の認知症者や困難ケースについて積極的に連携して頂き地域住民の認知症ケアに取り組んでいる。そのことを運営推進会議の場で個人情報に留意しつつ報告をしてもらえると、地域住民にも取り組みを理解していただけたと思う。		外部構成員参加の通常通りの運営推進会議が開催できない際には、活動状況に記載を行い定期的に活動報告を行って地域住民にも取り組みを理解していただけるようにする。

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化対策委員会を3か月に一度以上実施し、指針も作成している。毎年勉強会を実施し職員に周知と徹底を行い利用者の安全を第1に考えて、自由な暮らしを支える工夫について学習している。		<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も職員同士で毎年の勉強会の計画を立てて実行し周知と徹底を行って身体拘束をしないケアに取り組んでいくよう努める。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待について勉強会をもち、全員に周知するようにしている。また利用者と家族の関係の中から虐待を早期に見つけ、関係機関と協力しながら速やかに対応していくようにしている。		<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も職員同士で毎年の勉強会の計画を立てて実行し、周知と徹底を行って不適切な対応がなかったか、虐待を見過ごされることがないように入浴時のボディチェックも続けていく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護や成年後見制度を学ぶ場を持ち、施設内の研修で職員に周知してもらい日常のかかわりの中で本人の意思決定を尊重して、関係者と相談しながら支援している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時や契約解除時には、本人家族等に不安や疑問等を十分に伺って、説明や相談を行い納得を得られるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からは日常の会話の中で、家族からは来訪時やラインの中で、運営推進会議の中で等、色々な機会を通して意見、要望を聞き出すようにしている。運動の事、ケアに関する事等、出された要望はケアプランに組み入れ、可能な限り迅速に対応する様にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている <u>Ⓒ. あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	コロナ禍にあり面会を控えている間は、これからも家族様とのつながりの一つであるLINEを通して、また、運営推進会議の報告や、様々な機会を通して意見や要望を聞き出し、すべてが見える化にある運営を行っていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<u>Ⓐ. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員からは日々の朝礼時やカンファレンス等で提案を聞いたり、毎月のリーダー会議で話し合いをしたりしている。業務改善の意見等職員の意見をよく聞き運営に反映させている。管理者、リーダー、担当職員の連携をとるよう常に心掛けていく。個々面談の場を設けて意見や提案を聞く機会を設けている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の個性や能力を活かし役割をもった活動してもらっている。チャレンジカードで自己の目標を上げ達成感を味わってもらう。休憩はゆっくりと出来るよう休憩室を設け、食事代の補助も行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も自己の目標の達成感を味わってもらい、様々な勉強会の資料作り等で、各自が向上心を持って働けるように職場の環境を風通しよく努めることを続ける。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部研修への参加は積極的に案内し必要と思われる研修には参加を勧めている。内部研修は年間計画を作成し、全職員が参加できる機会を設け、資格取得のためには勤務時間の調整も行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部研修、内部研修と積極的に参加を勧め、自身の学びとして資料作りを行ってスキルアップを図っている。資格取得の案内も提供し、様々な研修に参加できるよう取り組んでいくことを継続する。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在はコロナ禍にあり自粛中であるが、GH 部会があり出席して行政を含め交流を行っている、GH 部会主催による介護職員交流会にも積極的に参加している。計画作成の集いにも出席し意見交換や勉強の場となっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の表情や会話、お気持ちなどに配慮しながら日々の暮らしの中で共有の時間をもち、共感できる場面を設定して、ともに安心して暮らせる関係作りをしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が今まで関わってきた地域社会との関係を継続して行っていくために、親戚や友人知人が家族とともに来訪される。家族の協力を得ながら支援に努めている。施設が運営するオレンジカフェへ出かけて仲間同士話し合ったり、にじの会で(GH 入居者同士の交流会)で花見やBBQ を楽しみ名刺交換で交流を図っている。コロナ禍の為自粛中であるが、面会はガラス越しでお会いしていただき関係が途切れないよう努めている。	コロナ禍により支援の制限が多い中においても、できることを継続して支援している。地域性を活かした利用者方の生活歴に根付いている「畑仕事」や「獅子舞の訪問」等は認知症のある利用者にとっては様々な良い影響となっていると思う。特に「農作物の収穫」は達成感や満足感、やりがい、役割につながっている。コロナ禍でボランティアの書道の先生の来所ができていないが、施設内でも続けていることも新聞で確認できた。		今後もできることを継続していく。家族との面会に関しても、日々施設内でも検討を繰り返しながら、ガラス越しでの面会ができそうか、短時間ならエレベーター前ホールなら可能か等都度施設内で検討していきながら対応していく。LINE でのつながりを密にし日々の姿を写真も送信することを続けていく。

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	出来るだけ本人の自宅での延長を感じるようにして頂き希望や提案を聞いている。聞き出すのが困難な場合は家族から要望や意見を取り入れている。本人の変			
----	----------	--	---	---	--	--	--

				化を支援記録や個人記録へ記録し職員全員で共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族からの要望、かかりつけ医の意見も参考にケアカンファレンスを開いて本人本位の計画書を立て、家族の了承を得ている。1か月に1回のモニタリングも行い計画書の見直しと状態変化の見直しも行っている。	モニタリングのスキルアップのためにも「ヒヤリハット事故報告」の活用で、利用者1人1人の「気づき」や改善につなげられると思う。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族の要望をまめに聞き出し、また、「ヒヤリハット事故報告」も活用してモニタリングのスキルアップを行っていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月のバイタル記録や状況をケース記録や支援経過記録へ記載し職員間で情報共有をしている。またスマホのトークも活用して情報共有してケアカンファレンスへ活かし計画書の見直しを随時行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々のケース記録入力とともにカンファレンスやスマホトーク(チーム手帳)での情報共有を今後も続けていき、介護計画の見直しに活かしていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族のご希望は、通院支援や外出しての交流等ご要望を相談しながら柔軟に対応させていただいている。	重度の入居者が多い状況を確認した。母の日、敬老会、お誕生日、特に「白寿のお祝い」を居室ベッド上でもお祝いを行い、家族がビデオ通話で一緒にお祝いできた様子を知れた。		いつ看取り期に入るか分からない状態の入居者方と家族が、ひと時でも一緒に過ごせる時間を持てるよう、これからも柔軟な支援は続けていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	民生委員、警察、消防等安心して暮らしを支える地域機関との連携は保っている。	コロナ禍になる以前に取り組まれていたことを少しずつ事業所の中で継続されている様子が新聞で垣間見えた。		コロナ禍の中でも地域資源の活用の内容を続けていけることを継続し、満足感の持てるような生活を支援していく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居契約時に、利用者本人や家族などの希望するかかりつけ医を決めている。従来からのかかりつけ医の受診には基本的に家族が同行し、結果報告を家族から受けることにしている。家族が不可能なときには職員が同行し、適切な医療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人が入院した場合その主治医をはじめ医療機関や専門機関と情報交換や相談を重ねて退院に向けた支援をしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も医療機関と連携をとり良好な関係を続けていく。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合の対応のあり方について、事業所の指針を作成し、対応しうる最善のケアについて利用者、家族に説明し、同意書を交わして方針を共有して家族の納得できる支援をしている。重度化に関する研修を定期的に行い、職員の知識とスキルアップを図っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も本人や家族と十分に話し合いを行って家族の納得できる支援を行っていく。看取り後の振り返りも職員同士で続けていく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルをフロアに掲示しマニュアルに沿った対応をするように職員に徹底している。事故シミュレーションを2か月に1回行い、毎週内容設定を変えて実際に事故が起こったとしての練習をして身につけていけるよう取り組んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者とともに、年2回災害における避難訓練や消火訓練を実施し、2か月に1回のミニ避難訓練(災害時の想定訓練)が定着し、職員の体にしみつかせている。実際の地震時は職員が訓練で身についた動きである、扉を開ける等的確に行動に移すことが出来た。災害時用の備蓄、備品も整えられている。地元との関係も深く協力体制も築けている。	コロナ以前から避難訓練に力を入れている様子は報告を受けている。今年度も地道に継続して取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	避難訓練やミニ避難訓練を継続し、職員の身に着くよう継続していく。運営推進会議の構成員である地域の消防団員とも協力体制を築き信頼関係をとっていく。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	接遇委員会を設けて研修を行っている。言葉遣いや服装、身だしなみ等必要があればその都度指導している。何気ない声掛けやケアで不穏になられるケースにおいては記録を行い全員で共有している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	プライバシー保護の勉強会においても継続し、職員同士で注意しあえる関係作りに努める。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その日の体調もあり必ず本人には自身のペースで過ごして頂くよう声をかけている。行事等あった時には参加の有無を聞いてから自身での時間の使い方を選んで頂いている。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設内で準備された料理を提供しているが、時には自家農園で収穫された野菜を使って利用者の好みを聞き追加で一品等食事作りもしている。利用者に葉をちぎったり豆を取り出したりと下準備もともに楽しんでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も農園で収穫された野菜等を利用者と職員と一緒に準備や味付けを行って味わっていただくことや、おやつ作り等が続けていく。また、後片付けもお誘いし、役割をもって達成していただく喜びを継続していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	習慣で飲んでいた好みの飲み物を聞き提供し水分補給摂取量が保持できるよう努めている。各自に食事量と食事形態を合わせて提供している。看護職とも状態を相談しながら必要な栄養や水分摂取が出来るよう支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	看護職と介護職が連携して状態観察を行い個々に合わせて口腔ケアを支援している。またご希望により訪問歯科診療往診の支援をしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も口腔内の状態観察を行って口内ケアを支援し、不具合時には訪問歯科の往診へつなげていくことを続けていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度の方も職員介助で全員トイレ排泄をしてもらっている。利用者1人1人の排泄パターンを表にして職員全員で共有し、表をもとにして本人のしぐさから察してさりげなく誘導し、トイレで排泄する支援を続けている。夜間は1時間ごとに巡回して、安眠を重視しながら排泄の自立に向けた支援に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も重度者もともにトイレでの排泄ができるよう継続していく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の身体状態に応じて家族浴槽と特別浴槽とを使用され週3回の入浴を楽しみにされている。体調が悪くて入浴出来ない時には翌日に入浴して頂いたり、看護職とも相談して清拭して清潔を保っている。いつでも入浴の声掛けをしてほしいとお声掛けをしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	1人1人の状態把握に努めその時々状態に応じて休憩をして頂いたり夜間の安眠を得られる様に支援している。重度化された場合もクッション使用や適宜の体位交換等で体の除圧に努めている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬局・看護・介護職員が連携をして服薬前には「薬事情報」を用いて用法、用量を確認して服薬支援をしている。年に一度薬の勉強会も行っている。		<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も薬事情報を職員全員で共有し目的や副作用等について理解をしていくことを続ける。薬剤師からの薬勉強会も今年度も予定している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話や家族からの聞き取りで趣味や興味、生活歴をお聞きして気分転換や楽しみとなるよう支援している。	行事やレクリエーションに熱心に取り組んでいることが新聞より伺えた。日常生活の中での個別の役割分担についても、運営推進会議で報告したら尚よいのではないかと。		それぞれの好みのある役割分担を把握し、楽しみや喜びのある日々を過ごせるように支援を続けていく。支援内容は運営推進会議の中で報告を続ける。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為外出範囲は限られるが玄関わきの花壇で外気浴をしたり季節の花を見て頂いたり自家農園に行き季節のお野菜を収穫し調理して頂いている。重度の方も無理のない範囲で近場の花見も楽しんで頂いている。	コロナ禍で制限のある中においてもできる範囲で外出に取り組んでいる様子を運営推進会議報告書と新聞で確認する。特に自家農園での作業は、利用者皆様が生き生きとされている様子が伺える。この取り組みを継続していることもよい。		コロナ禍の中においてのできる範囲での外出は今後も続けていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の自己決定を尊重している。買い物に行かれた際はご自分でお金を持つための支払いをされる様にお手伝いしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のご希望により常時可能な体制を取っている。コロナ禍の為ラインのビデオ通話を使いお顔を見ながらお話もして頂いている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の出来る事や身体状態に合わせて生活が出来るように見守りや声掛け介助を支援している。食堂兼リビング、台所、浴室、トイレ等装飾や家具の配置等家庭的な雰囲気作りに努めている。壁には利用者や職員の作った作品の展示があり、生活感に溢れて居心地よく過ごせる工夫をしている。		A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な空間の中で、キッチンやリビング等に季節感のある作品を皆で作成し、飾り、穏やかに過ごしていける工夫をこれからも続けていく。

**IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）**

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ本人の自宅での延長を感じるようにしていただき希望や提案を聞いている。聞き出すのが困難な場合は、家族から「本人のしたいことはやらせてほしい」という要望や意見に添って料理や洗			
----	----------	--------------------------------------	---	--	--	--	--

				濯物のたたみなどを取り入れている。本人の変化を支援経過記録や個人記録へ記録し、職員全員で共有している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にアセスメントやフェースシートへ記録して把握をしている。一人一人の生活歴や暮らしぶりの情報を家族からも聞き取り把握に努めてケアプランに反映しサービス提供を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護と介護の連携により個々の状態を把握して一日の過ごし方を観察し、本人や家族の信頼される、かかりつけ医に往診もしていただき日常生活の状況を報告している。変化がみられた時は速やかに家族、かかりつけ医に連絡相談している。		<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師や主治医と連携をとり、少しでも気になることがあれば相談するようにする。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人のペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。行事等あるときには参加の有無を聞いてから、自身での時間の過ごし方を選んでいただいている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の使い慣れた家具を持参頂き家族の写真やご自身の作品などを飾って頂いている。		<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状を維持し、自室の中で大事に保管して身近に持つことを続けていく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為外出、催事への参加は難しいが近場にお花見に行かれたり、家族や職員と近隣を散歩されている。			近隣の神社への散歩やお花見などの季節感を味わえる外出等、できる範囲で戸外へ出かけられるよう続けていく。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<u>㊤. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テーブル拭き、食器洗い、洗濯物、料理(家庭の延長)は何でもやって頂いている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご自身の趣味や家事を日常的に行っている。また、家族ともラインでのやり取りと日々の表情を動画で顔を合わしたり、昔の生活歴を会話の中で聞いて、家事や仕事に精を出していた時の話をいきいきと会話していただくことで毎日を楽しんでいる。	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活の会話の中で昔の生活歴や仕事のことをいきいきと熱く語っていただくことや、手作業の配分等、ご自身で決めて頂き毎日を楽しんでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍にあり行き来はしていないが近隣の幼稚園児や保育園児への季節行事の手作りのプレゼント交換を続けて交流を続けている。	コロナ禍でもプレゼントを手作りして渡すなどの間接的なかわり方を事業所で見出して続けている。	/	コロナ禍の中でも配食サービスのプレゼント配りや地区内のサロン、幼稚園や保育園等、地域の皆様と交流し関わることを、できる範囲で続けていく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為外部の方との交流は難しいが料理・合唱・散歩など職員と共に日々過ごしていただき、職員と毎日顔を合わすことで安心と、信頼関係を築いていき、よりよい日々を送っている。	運営推進会議報告書や新聞を拝見し、職員の熱心な取り組みを確認し、利用者のいきいきとした表情より、充実した日常生活を送れているのだと感じ取れる。職員の自発的な「気づき」を活かせるものとして、ヒヤリハット・事故報告に取り組むことを提案します。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員同士で情報を共有し、利用者との会話を多くとって、利用者が安心した生活ができるよう、また多くの会話や行動で「気づき」を増やしヒヤリハットを多く取り組んで、安全に生活が送れるようにしていく。